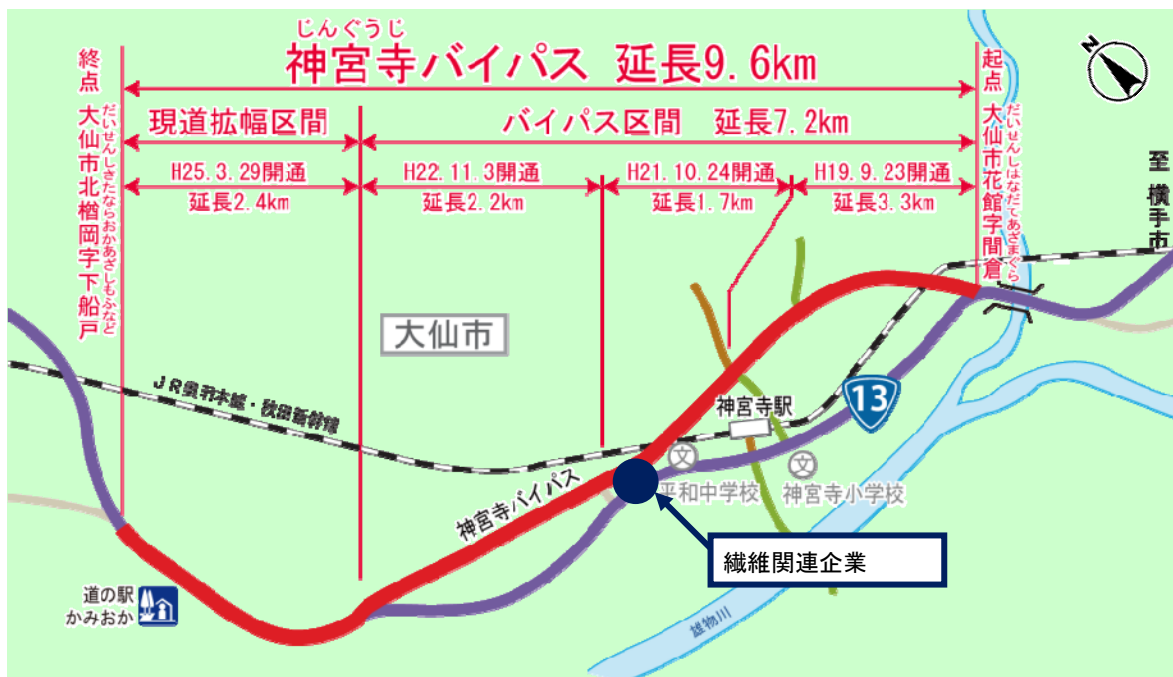


国道13号神宮寺バイパス 全線開通1年後の交通状況について

～神宮寺バイパスの効果を実感～

平成25年3月29日（金）に国道13号神宮寺バイパス（9.6km）が全線2車線で開通しました。

既に開通している区間と合わせて、現在の交通状況についてお知らせします。



■ 地域の産業活動を支援

- ・バイパス沿線に立地する繊維関連企業では、物流円滑化を実感。

■ 冬期も円滑で安全な救急搬送が可能に

- ・仙北組合総合病院への救急搬送ルートとしての利用が定着し、年々増加傾向。

■ 現道の死傷事故件数が約9割減少。

- ・バイパス区間の開通後、死亡事故がゼロに。

記者発表会：秋田県政記者会、横手記者会、秋田魁新報社湯沢支局・大曲支局、秋田建設新報社、秋田建設工業新聞、建設新聞社、秋田県南日々新聞、秋田民報

【お問い合わせ先】 国土交通省 東北地方整備局 湯沢河川国道事務所

TEL 0183-73-5559 FAX 0183-72-2488

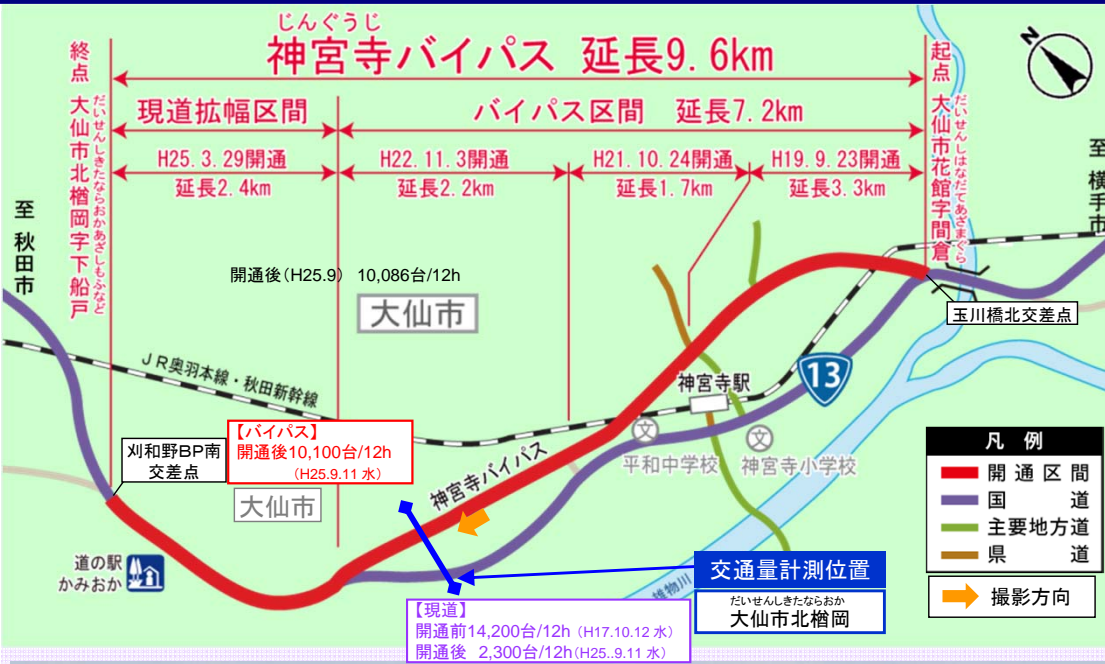
副所長(道路) 齋藤 廣昭 (内線205)
調査第二課長 渡辺 央 (内線451)

【開通1年後】一般国道13号

神宮寺バイパスが全線開通して

(平成25年3月29日全線開通)

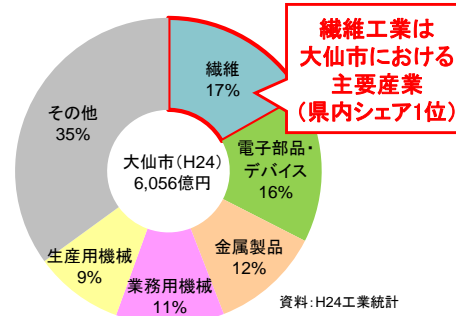
- ・ 地域の産業活動を支援
- ・ 冬期も円滑で安全な救急搬送が可能に
- ・ 現道の死傷事故件数が約9割減少



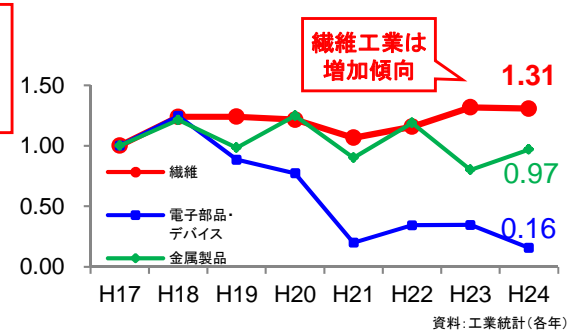
①地域における主要産業の物流円滑化を支援

・バイパス沿線に立地する繊維関連企業では、物流円滑化を実感。

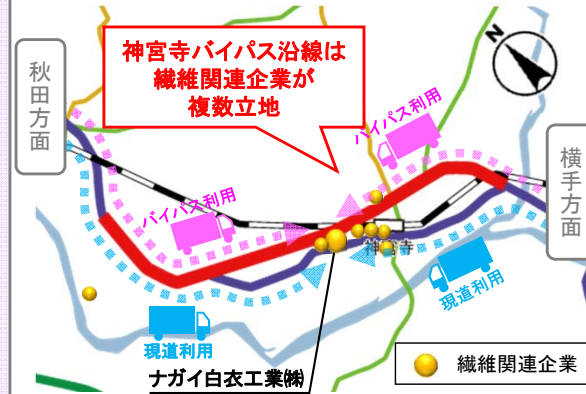
▼ 大仙市の製造品出荷額を占める産業の割合 (H24年度)



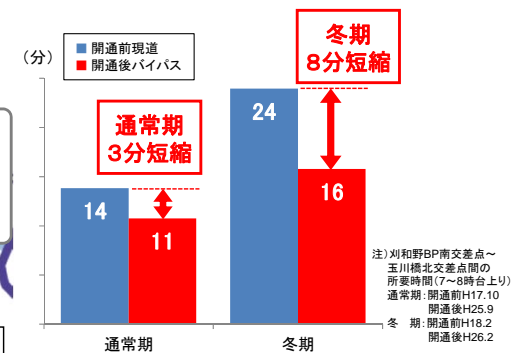
▼ 大仙市上位3産業の製造品出荷額の推移 (H17年比)



▼ バイパス周辺における繊維関連企業の立地状況及びナガイ白衣工業への搬入時の経路



▼ 神宮寺バイパス終点から起点(上り線)間の所要時間の変化



開通1年後の神宮寺バイパス



企業の声

- 秋田方面、横手方面の倉庫から原材料を毎日搬入しているが、**両方向とも主に神宮寺バイパスを搬送経路としており、時間短縮により搬送がスムーズに行えるようになった。**
- 中には、現道を利用する業者もおり、**バイパス整備により現道の交通量が減り、混雑が無くなった事で搬送しやすくなった**と感じている。 (ナガイ白衣工業(株)より)

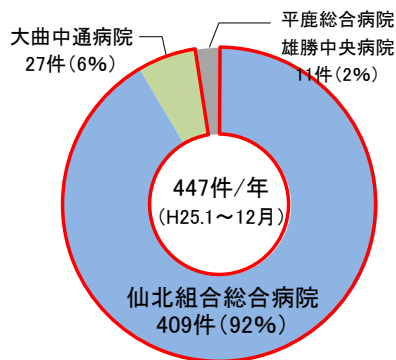
②冬期もスムーズな走行、搬送患者の負担が軽減

- ・協和・西仙北地区から仙北組合総合病院(2次救急)への**救急搬送ルート**としての利用が定着。**搬送件数は年々増加の傾向**。
- ・広い道路幅員、堆雪幅確保により、**冬期もスムーズな走行が可能**となり**搬送患者の負担が軽減**。

▼協和・西仙北地区からの搬送ルート



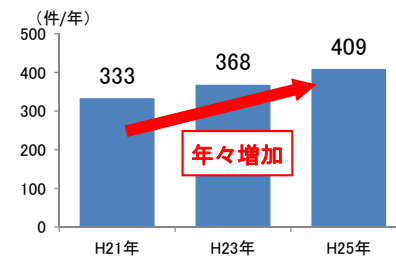
▼協和・西仙北地区から大曲・横手方面への救急搬送件数(H25年)



▼冬期における道路環境の比較



▼協和・西仙北地区から仙北組合総合病院への搬送実績



資料:大曲仙北広域市町村圏組合消防本部ヒアリングより

消防本部の声

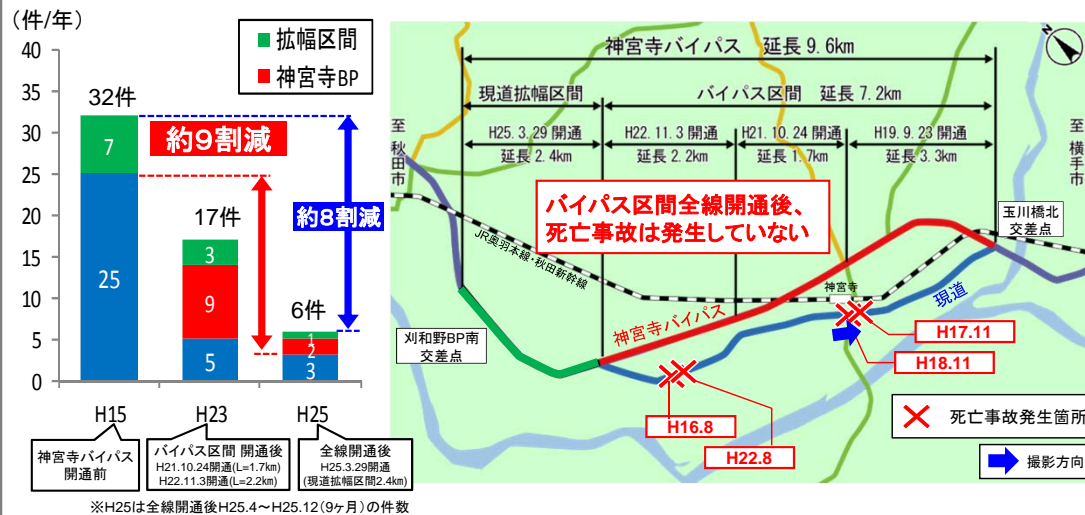
- 現道と比べ、積雪時雪で狭くなった場合でも、**車間が広くとれ、走行に支障をきたすことがほとんど無くなった**。
- 神宮寺バイパスは、**視認性が良く、道路脇から出る車両や歩行者などが視認できる**。また、加減速が少なくなり、一定のスピードで走行できるため**患者への負担が軽減し、救急車内での処置もしやすくなった**。

(大曲仙北広域市町村圏組合消防本部ヒアリングより)

③現道の死傷事故件数が約9割減、死亡事故はゼロ

- ・現道では、部分開通毎に減少。全線開通前後で**約9割減少**。
- ・バイパス区間の開通後、**死亡事故がゼロ**に。

▼死傷事故件数の変化



▼現道の状況



地域の声

- バイパスができたことで現道の交通量がかなり減り、**安心感が高まった**。(神宮寺小学校ヒアリングより)
- バイパスの完成後、**死亡事故が無くなった**。
- 現道での**町内の事故がほんとうに少なくなった**と思う。
- 現道の交通量の減少により、**子供達の通学もかなり安全になった**。(神宮寺バイパス沿線住民アンケートより)